

# 3D 映像の生体安全性講習会

## 人に優しい 3D 映像実現のためのガイドラインとは！

- 主催：(社)電子情報技術産業協会、(独)産業技術総合研究所、3Dコンソーシアム
- 担当部署：コンシューマ・プロダクツ部
- 参加者数：約100名

### 概要

3D映画が世界中で人気を博す中、3D-TVが大手家電メーカーより商品化され、予想以上の売れ行きを示しています。

現状の3D-TVは両眼視差の原理に基づくもので、自然な立体視とは異なる部分があることから、その快適な利用には一定のルール、すなわち3D映像のための安全ガイドラインが必要です。

(社)電子情報技術産業協会と(独)産業技術総合研究所は、経済産業省から委託を受け、平成21年11月30日より快適3D基盤研究推進プロジェクトを推進し、4月19日に3Dコンソーシアム(3DC)と共同で、「3DC安全ガイドライン」及び業界別、社内向けガイドライン

策定のベースとなる「3D文献抄録集」を取りまとめ公開しました。

本講習会では、当協会半田力専務理事の開会挨拶に続き、経済産業省産業技術環境局 工業標準調査室 室長 井上悟志氏の来賓のあいさつの後、安全ガイドライン策定の経緯と内容について詳細な説明があったほか、世界初となる3DCガイドライン準拠映像が公開されました。

また、問題のある映像を実際に体験できるなど、全体として安全性に配慮することが快適で美しい3D映像につながる事が理解されました。

### プログラム

#### ○開会挨拶

(社)電子情報技術産業協会 専務理事 半田 力

#### ○来賓挨拶

経済産業省産業技術環境局 工業標準調査室 室長 井上悟志氏

#### ○3DC生体安全ガイドラインに関する詳細説明

快適3D基盤研究推進委員会 委員長 兼 3DC安全ガイドライン部 会長 千葉 滋氏

#### ○3DC安全ガイドライン準拠映像のご紹介 作品名「あづみの百年の刻(とき)」

監督 押切隆世氏(制作会社(株)プローブ)

#### ○3D一体型カメラ AG-3DA1による制作

総合プロデューサー 臼井 晶氏、技術プロデューサー 竹内明弘氏(パナソニック(株)デジタルソフトラボ)

#### ○3D関連文献抄録の詳細

(独)産業技術総合研究所 ヒューマンライフテクノロジー研究部門  
マルチモダリティ研究グループ グループ長 氏家弘裕氏

#### ○3D生体影響実験映像「GO AHEAD!」の紹介

北京電影学院 客員教授 古澤敏文氏

#### ○「GO AHEAD!」による生体影響実験結果

(独)産業技術総合研究所 健康工学研究部門 暮らし情報工学グループ 主任研究員 渡邊 洋氏

